

名古屋港水族館

指定管理者運営モニタリング結果（年度評価）【令和6年度】

1 施設の概要

施設名	：名古屋港水族館
所在地	：名古屋市港区港町1番3号
設置根拠	：名古屋港水族館条例
設置目的	：水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、住民の自然環境に対する意識の高揚を図るとともに健全な余暇の活用に資するため
施設概要	：名古屋港水族館

2 指定管理概要

指定管理者名	：公益財団法人 名古屋みなと振興財団
指定期間	：令和5年4月1日から令和15年3月31日まで

3 利用状況

(単位：人)

区分	令和6年度		令和5年度		増減①-②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
名古屋港水族館	-	-	-	-	-
	2,000,000	2,407,724	2,000,000	2,436,101	-28,377

※1 計画値は、指定管理者から提出された計画値を指します。

4 収支状況

(単位：千円)

区分	令和6年度		令和5年度		増減①-②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
収入	2,413,000	2,847,771	2,323,000	2,922,842	-75,071
利用料金	2,322,000	2,742,812	2,240,000	2,781,351	-38,539
指定管理料	3,248	3,190	5,449	5,448	-2,258
その他	87,752	101,770	77,551	136,043	-34,273
支出	2,413,000	2,847,771	2,323,000	2,922,842	-75,071
収支差	0	0	0	0	0

※1 計画値は、指定管理者から提出された計画値を指します。

※2 ()は、当初の計画値を指します。

5 モニタリング結果

(1) 総合評価

評価	評価内容
A +	広報パートナーのサポートのもと、北館開館以来、初めてイルカパフォーマンスを全面的に刷新したこと、特別展やコラボレーションイベントを開催するとともにSNSを効果的に活用し情報発信を行ったこと、オンラインレクチャーとスナメリ観察会の開催等、教育普及に関しても積極的に取り組んだこと、調査研究では、アカウミガメ回遊経路調査により、回遊経路の追跡ができ、航跡の解析による仮説の証明につながっていく調査活動に継続して取り組むことができたこと等が評価できる。 施設の老朽化に対応し修繕を積極的に実施したこと、及び計画を上回る収支差があったことが評価できる。より一層の利用者数増加に向けた取組を期待する。

(2) 区分ごとの評価

区分	評価	評価内容
基本項目	A	平等な利用の確保、法令遵守など、本組合の求める水準で運営が行われている。
施設の適正な管理	A +	数多くの維持補修を迅速に行っており、適正に管理している。また、オンラインレクチャーとスナメリ観察会を実施し、積極的に教育普及に取り組んだ。北館開館以来、初めてイルカパフォーマンスを全面的に刷新した。調査研究では、米国関係機関等とアカウミガメの回遊経路調査に取り組んでいる。
サービスの維持・向上	A +	SNSでの情報発信に努め、コラボレーションイベント等に取り組み、広報活動を積極的に行なった。また、電子チケットの推進を図った。年間バスポートリニューアルに伴い、ネット申込み及びオンライン決済が可能となり、サービス向上を図った。これらによる利用促進を図ったこと等により、年間の入館者数は計画値の200万人を大きく上回った。
運営等の安定性	A	利用料金収入が増加し、計画を上回る収支差があった。

【評価の基準】

S : 本組合の求める水準を大幅に上回る水準であり、模範的な施設運営がなされている

A⁺ : 本組合の求める水準を上回り、事業者の提案を含めた協定書の水準

A : 概ね期待どおりの水準（業務仕様書の水準）

B : 一部分を除き、概ね期待どおりの水準

C : 本組合の求める水準と比べて不十分

(3) 今後の対応等

本組合の求める水準を上回る取組も行われていることから、今後もこの管理水準を維持されるよう指導を行っていく。

6 利用者からの反応

アンケートにおいて高い満足度を得ている。北館・南館ともに満足度が高く、中でも「鯨類プール」「赤道の海」「くらげなごりうむ」の満足度が高い。

7 その他

特になし

○ 問い合わせ先

名古屋港管理組合 港営部文化交流施設課

電話 : 052-654-7868 ファクシミリ : 052-654-7829

メールアドレス bunka-shisetsu@union.nagoyako.lg.jp